

令和 8 年度 医療分野の研究開発関連予算のポイント

健康・医療戦略推進本部の下で各省が連携し、令和 7 年度補正予算（7 3 8 億円）と合わせ、医療分野の研究開発を政府一体で推進。

	8 年度予算	7 年度予算 (当初)	対前年度		7 年度予算 (補正)
			増▲減額	増▲減率	
日本医療研究開発機構（AMED） 対象経費	1, 2 3 8 億円 (こ7,総3,文583, 厚481,経166)	1, 2 3 2 億円 (こ6,総3,文583, 厚479,経161)	+ 6 億円	+ 0.5 %	4 0 4 億円 (内120,文175, 厚110)
インハウス研究 機関経費	8 4 1 億円 (こ0,文251,厚504,経86)	8 1 3 億円 (こ0,文251,厚500,経61)	+ 2 8 億円	+ 3.5 %	3 3 4 億円 (厚334)

- 上記経費に加え、内閣府に計上される「科学技術イノベーション創造推進費(595億円)」の一部（175億円）を医療分野の研究開発関連の調整費として充当見込み。
- 令和 7 年度補正予算に、AMED対象経費として404億円（内120、文175、厚110）、インハウス研究機関経費として334億円（厚334）を計上。
- 上記における計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは合致しないものがある。

主な取組

※ 精査により計数等に異動が生じる場合がある。

第 3 期健康・医療戦略（令和 7 年度～11年度）等に基づき、8 つの統合プロジェクトに予算を重点化する。令和 8 年度においては、創薬力の強化とイノベーションの推進、医療・介護DX、次なる感染症危機を見据えた研究開発を含む、医療分野の研究開発を強力に推進する。

1. 医薬品プロジェクト 3 5 5 億円 < A M E D 3 0 8 億円、インハウス 4 6 億円 >

- アカデミア・企業連携による創薬研究の活性化（GAPFREE）、モダリティの高機能化や疾患応用研究との融合によるシーズ開発、異分野融合等の革新的ながん治療・診断法の研究、初期フェーズの創薬研究に活用できるAIプラットフォームの構築、薬剤送達技術を活用した核酸医薬品等の製造基盤技術確立、放射性医薬品等の先端的な評価手法開発やガイドライン作成、創薬等ライフサイエンス分野の先端研究基盤の整備・強化、大規模な臨床・マルチオミクスデータのレジストリ構築、小児や希少疾患等の臨床研究等の促進 等

2. 医療機器・ヘルスケアプロジェクト 8 8 億円 < A M E D >

- 医療機器スタートアップと既存企業の連携や、早期からグローバル展開を視野に入れたイノベーション創出・事業化の促進、AI・ICT等を活用した介護テクノロジーやプログラム医療機器の研究開発・社会実装、医療従事者の業務効率化・負担軽減に資する医療機器開発、アカデミア発の革新的な医療機器・システム開発、エビデンスに基づいたヘルスケアサービスの開発支援、AMEDプライマリヘルスケア・プラットフォームを通じた学会指針改訂や普及啓発、人材育成やスタートアップ伴走支援を行う拠点の支援及び実証基盤の整備 等

3. 再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト 1 9 6 億円 < A M E D >

- 異分野連携を促進しつつ、将来的な実用化につながるシーズの育成、疾患特異的iPS細胞を用いた病態解明・創薬研究、再生・細胞医療・遺伝子治療（in vivo遺伝子治療を含む）の実用化を目指した臨床研究・治験、腫瘍領域におけるCAR-T細胞療法等による非臨床試験及び医師主導治験並びに製薬企業とのマッチング支援、遺伝子治療用ベクター及び遺伝子改変細胞の製造基盤技術開発、製造プロセス開発、iPS細胞等を活用した創薬支援ツール開発、製造装置等の開発 等

4. 感染症プロジェクト 7 8 億円 < A M E D >

- 海外研究拠点で得られる検体・情報等を活用した研究及び感染症研究人材の育成、ワクチン・診断薬・治療薬等の開発、疫学調査や病態メカニズムの解明、HIV感染症やB型肝炎ウイルス感染症の治療法開発等、次のパンデミックを見据え国立健康危機管理研究機構と連携した研究開発や研究開発基盤強化、感染症危機対応医薬品等の研究開発・実用化を見据えた体制の整備、重点感染症に対するワクチン等の開発 等（一部基金事業を含む）

5. データ利活用・ライフコースプロジェクト 2 1 8 億円 < A M E D 2 0 0 億円、インハウス 1 8 億円 >

- ゲノムを始めとした次世代医療の研究開発に資するデータ等基盤の整備・発展・利活用の促進、がん・難病等におけるゲノム医療・個別化医療の実現に向けた研究開発の加速、創薬等の出口を見据えたデータ駆動型研究の推進、認知症、精神疾患、循環器疾患・糖尿病等の生活習慣病、免疫アレルギー、成育、女性の健康、腎疾患、慢性の痛み等におけるライフコース視点や性差に基づく健康課題対策に資する研究開発の促進 等

6. シーズ開発・基礎研究プロジェクト 2 1 4 億円 < A M E D >

- 組織・分野の枠を超えた研究体制の下での先端的な研究開発、ヒトの高次脳機能の解明や認知症等の診断・治療・創薬等シーズの研究開発、ヒト脳に係る生体試料等の研究基盤強化、ムーンショット型研究開発の推進、健康・医療分野の地球規模課題解決に向けた国際共同研究、国際頭脳循環や国際連携の一層の促進 等（一部基金事業を含む）

7. 橋渡し・臨床加速化プロジェクト 8 5 億円 < A M E D >

- 橋渡し研究支援機関を核とした効果的な橋渡し研究への切れ目ない支援、アカデミア発シーズのスタートアップを介した研究開発、国際水準の治験・臨床試験実施体制整備、大学病院等の研究開発力向上に向けた環境整備、アジア地域における治験・臨床試験ネットワークの構築 等（一部基金事業を含む）

8. イノベーション・エコシステムプロジェクト【基金事業】< A M E D >

- 適切な能力でハンズオン支援を行う国内外のベンチャーキャピタル（VC）の認定と認定VCが出資するベンチャー企業への非臨床・治験段階の開発支援、複数年にわたる幅広い産学連携での医薬品等の研究開発の実施、難病・希少疾病に対するベンチャー・製薬企業が実施する国際共同治験等の推進と臨床開発能力向上による創薬エコシステム構築 等

※ 上記に加え、AMED運営費交付金等のAMED対象経費が 6 9 億円、インハウス研究機関の運営経費等のインハウス研究機関経費が 7 7 7 億円ある。